

関平だより

平成 22 年 4 月号

発行 霧島市営 関平鉱泉販売所

0120-235-524

定休日は第1及び第3火曜日

4月の定休日は6日(火)・20日(火)です。

霧島の歳時記

「春の観光シーズン到来！」4月は霧島が1年のうち最も輝く美しい季節です。一面の菜の花畑やノカイドウ、またはミヤマキリシマと、さまざまな花たちが霧島の春に彩をつけてくれます。花の宝庫霧島では本格的な夏山シーズンをむかえ、平成22年4月11日(日)高千穂河原古宮址で登山者の安全祈願の神事「霧島連山夏山開き」が執り行われます。終了後、各自コースに分かれ霧島連山の清掃登山を行います。



霧島連山夏山開き
お問い合わせ先：霧島連山自然保護協議会
TEL：0995-45-5111

自然への感謝と登山者の安全を祈って神事が執り行われます。

霧島市 和気公園で『第7回 藤まつり』が開催されます！！

霧島市の和気公園では4月中旬頃「藤まつり」が開催され毎年大勢の見物客が訪れます。例年の見ごろは4月中旬から5月初めの約10日間で、今年は4月17、18日の両日霧島九面太鼓の演奏など、開花セレモニーが予定されています。

会場いっぱいに広がる花の香りと、霧島九面太鼓の迫力ある演奏が楽しめます♪

お問い合わせ先：和気公園藤祭り実行委員会
TEL：0995-54-6410



4月の霧島連山トレッキング

日時：4月25日(日)
コース名：キリシマミズキ
韓国岳＝大浪池(周回)＝えびの高原
お問い合わせ：霧島市観光協会
TEL：0995-57-1588

「キリシマミズキ」も「マンサク」も、えびの高原の名花として有名です。



関平温泉湯の神祭り

今年も4月20日(火)に『原田丑太郎への感謝と源泉の永続と安全』を祈って『関平温泉湯の神祭り』が4月に開催されます！！



関平温泉は、一八三三年(天保三年)原田丑太郎という田舎武士が発見したという伝説が残っています。以来、絶えることなく湧き続け、名泉として全国に名が知れるようになりました。関平温泉の源泉



▲ 関平の源泉で、和気神社の神官のもと感謝祭が厳かに執り行われます。(09湯の神祭り)

○関平温泉の沿革

天保三年八月(一八三二)	原田三太郎(文による)神示により発見	明治二十五年頃(一八九二)	床次研助	?	床次牛太郎(牛太郎温泉といわれ)	?	上野栄吉(?)	昭和十一年頃(一九四七)	桐野国親	?	奥武雄(?)	昭和五十一年三月(一九七六)	牧園町
--------------	--------------------	---------------	------	---	------------------	---	---------	--------------	------	---	--------	----------------	-----

※昭和51年(1976)3月奥武雄氏より、立木、施設(本館・湯治小屋・浴場)の全部を購入し、完全に牧園町有となった。



関平温泉

ご 報 告

『第14回龍馬ハネムーンウォークin霧島』で鉱泉水が大活躍！！

坂本龍馬と妻のおりょうが日本で最初の新婚旅行として訪れたという霧島市で去る3月20、21日の両日、「第14回龍馬ハネムーンウォークin霧島」が開催されました。霧島神宮や犬飼滝といった2人が旅をしたゆかりの地などを巡る全4コースに、2日間で県内外から約4,500名のウォーキング愛好者や龍馬ファンが参加。早春の霧島路を散策しました。コースの途中に設置された関平鉱泉水の試飲コーナーでは、ウォーキングで乾いた体に鉱泉水を飲んで「とってもおいしい♪」と大好評でした。



▲ 犬飼・中津川コースのウォーキング風景。

ニュースその1

おおすみ・鹿屋 販路拡大フェアで関平鉱泉水をPR!!

去る3月5日、大隅地域の安全・安心な魅力ある食材を県内外のバイヤーの方々に広く紹介する商談会『“おおすみ”食&アグリマッチングフェア 2010 in 鹿屋』が、鹿屋商工会議所で開催されました。当日は、大隅各地から60社が出品。関平鉱泉も試飲コーナーを設けパンフレットを配布。関平温泉や鉱泉水の特徴をPRしました。



▲ 大隅地域の安全でおいしい農水産物や加工食品60社の展示がありました。

鉱泉水の実験その2

＊『スイセン』で関平鉱泉水を使った生け花の実験をしました!!

同じ苗木の「スイセン」の花を水道水(図1)と他社ミネラルウォーター(図2)と関平鉱泉水(図3)にそれぞれ生け花にして花の長持ち度を比較してみました。



図1 水道水
3月18日



図2 他社水
3月18日



図3 関平鉱泉水
3月18日



図4 3月23日水道水の花弁は澁が茶色に黒ずみはじめました。



図5 3月23日他社水の花弁は澁が少し茶色に黒ずみはじめました。



図6 3月23日関平鉱泉水の花弁は鮮やかな黄色を保っています。

前回のサザンカの実験に続き今回の実験でも関平鉱泉水の生け花は、水道水・他社ミネラルウォーターに比べてみずみずしさが長持ちする結果がでました。さらに今後も実験を続けて参ります。

体験談募集

関平温泉(入浴)や、関平鉱泉水をご愛飲の皆様の体験談をお寄せください!!

「せっぴらん湯」の愛称で親しまれている関平温泉は、昔から傷や皮膚病に良いと地元ではとても有名な温泉です。昨今では企業からも、“たくいまれな温泉”と注目を集め、焼酎や化粧品の原料としても活用されています。

関平鉱泉水を使うと、料理がおいしい、お茶がおいしい、健康、ペット、園芸に関することもあるかもしれません。関平温泉や鉱泉水について皆様の生の体験談やユニークな活用法など何でも結構です。ぜひお聞かせください。お便りは鉱泉所試飲室に設置してあるお客様の声・Eメール・FAX・お手紙・ハガキ・お電話でも結構です。

多くのお客様のお便りをお待ち申し上げます。

関平鉱泉所 体験談募集係

〒899-6602 鹿児島県霧島市牧園町三体堂 2057
TEL: 0120-235-524
FAX: 0995-78-2036
Eメール: sekihira@po2.synapse.ne.jp

鹿児島のおでかけBOOK『じもたび』で関平の広告を掲載しました!!

「関平」をもっと知ってもらおうと斯文堂から発行の鹿児島のご当地グルメの旅や街歩きなど、オススメスポットを紹介している本!『じもたび』で関平温泉・鉱泉の広告を掲載しました。
発売: 2010,3,19 定価: 980円(税込)

編集者のひとりごと

体内の水分不足は熱中症などさまざまなトラブルの原因になります。近年では“健康のためにこまめな水分補給を習慣づけましょう”とよく言われます。正しい水分補給をすることは、健康ばかりでなく美容にもうれしい効果が期待できるそうです。美しい肌は、新陳代謝を繰り返すことで保たれています。新陳代謝を良くするには、1日に2リットルを目標に、水分を摂るのが良いそうです。体に入った水分は、血液をさらさらにし、栄養を全身に届け老廃物を排出するといった働きをします。美肌づくりには、直接肌に化粧水などを付けるスキンケア以上に、体の内側から水分補給をすることが重要なのです。また失われるのは水分ばかりではありません。汗と一緒にナトリウムやカリウムも失われてしまうので、ミネラルウォーターでミネラル分も補給するのが理想です。ミネラルバランスに優れた関平鉱泉水をお試しください。

